

ハンドブック
ワンポイント
レッスン

知っておきたい規則とルール

Question

中学校の顧問の先生からのご質問です。

「中学校の顧問をしているものです。審判について、お聞きしたいことがあります。他校との練習試合のなかで、ファーストサービスの判定で、サービスラインの微妙な判定で、副審はフォルトのサインを出していたのですが、正審のフォルトのコールはなく、インと判定。レシーバーは、正審のフォルトのコールがなかったので、フォルトと思いながらも、連続的にプレーしなければならないに従い、そのサービスをレシーブして、その後もプレーを続けました。そのポイントが決着した後すぐ、審判に先刻のサービスの判定について質問しました。すると相手校の顧問の先生から、フォルトと思ったら、コールがなくとも、その時点でプレーを止め、質問しないといけない。つまり、ポイントが決着したあとには質問できないと言われました。私としては、サービスに限らず、微妙なボールは、正審のコールがない限り、連続的にプレーをし、ポイントが決着したあとすぐに質問するよう指導しているのですが、間違いなのでしょうか。」

Answer

インプレーにおいて、アンパイヤーがインプレーを停止するサイン又はコールをした場合は、直ちにプレーを中断させる。アンパイヤーは判定に誤りがあれば勇気をもって判定の訂正等を行うこと。

今回の様なご質問は、多くの人が理論的にはそのことを知っていながら、実際には勝負にこだわって、自分達に有利になる様な解釈、例えばポイントが決着した後は質問できないはずであるとか、アンパイヤーの判定に従うべきである等と強く主張するケースが残念ながらあります。もっとおおらかにやられるように努めたいものですね。

それでは、競技規則や審判規則に対する解釈と理解について確認していきましょう。

その一つ目は、副審がフォルトのサインを出しているのに正審が副審のフォルトのサインを見落としてフォルトのコールをしないでインと判定した事です。審判規則第6条（アンパイヤーの任務）の第2項に「正審は他のアンパイヤーの判定区分については、他のアンパイヤーのサイン及びコールを確認した後に、これを尊重して明確にコールする」とあります。

二つ目は、同第16条（プレーの停止）には「インプレーにおいて、アンパイヤーが誤ってインプレーを停止するサイン又はコールをした場合は、直ちにプレーを中断させる」とあります。プレーヤーは、平素顧問から迷った時にはプレーを止めないで続ける様に指導を受けている。そして、【解説13】誤りに気付いてもインプレーでは、プレーを中断しない。中断した場合は、中断したペアの失ポイントとなる事が頭にあってプレーを続けられたのでしょうか。そして、決着がついた直後に先程疑問に思っていた事について質問をされたようですが、相手校

の顧問から質問のタイミングが間違っていて質問は出来ないと言われ、今回の質問となった様ですが、結論は今回質問された顧問の先生の指導が間違いでなかったと言えますね。

競技規則第40条（異議の申立て等の禁止）【解説17】の5により、質問はサービス時の副審のフォルトの判定に関係しますので、審判規則第8条（アンパイヤーの判定区分）によりサービスラインは副審の判定区分で、副審がフォルトのサインを出したならば正審は副審のサインを確認した後に、それを尊重してフォルトのコールをし、判定に疑問があればタイムをかけて副審を呼んで協議する必要がありました。その結果、サービスがインであったならば、フォルトのサインがプレーに影響した扱いになりますので、競技規則第26条（サービスのレット）第3号ア【解説11】に従ってレットとすることが正しい答えとなります。

次に審判規則第14条（再確認）【解説25】の1に、プレーヤーから判定に対し質問があった場合は、内容を確認し、判定に誤りがあれば勇気をもって判定の訂正等を行う事となります。今回の問題は、正審が副審のフォルトのサインを見落とした事によって、正審がインと判定したのでプレーヤーが一度はフォルトと思いながらもプレーを止めて質問するとプレーを止めた事によってプレーを止めたペアの失ポイントになると考え連続的にプレーをした事により混乱をきたした様です。ところで、今回の様にアンパイヤー同士がサインを見落とすケース

は少なからずあり判定が明確でない場合にはプレーを続けて、プレーが決着したあとで質問するケースは良いとは言えませんが少なからず見受けられます。アンパイヤーのサインが正しい時も誤っている時もサインを出したら直ちにプレーを止める事です。そして、その時点で判断しましょう。

競技規則や審判規則に対する解釈と理解力によって、何をどの様に質問したらよいのか、また相手が言っている事に対して相手に反論しようとしてもソフトテニスハンドブックのどこに記載されているのか解らないで反論出来ないことが多いようですが、今後お互いにフェアプレーをモットーにルールを尊重すると共にソフトテニスハンドブックを判読しご理解を頂き、生徒さんに正しい解釈のご指導をお願いします。



関連規則

競技規則	第15条（プレーヤーの心得）(2)、第26条（サービスのレット）(3) ア及び【解説11】3、【解説13】、第40条（異議の申立て等の禁止）【解説17】5
審判規則	第6条（アンパイヤーの任務）2、第8条（アンパイヤーの判定区分）、第12条（判定の確認）、第13条（判定の連携）第14条（再判定）、第16条（プレーの停止）
ジュニア審判マニュアル	
競技規則について	4. プレーヤーがよくわかっていなければならないこと（心得）7. サービス（6）③（ア） 15. アンパイヤーの判定に異議がある場合はどうしたらよいか？（質問）
審判規則について	2. アンパイヤーの判定区分、4. 判定の確認と連携、5. プレーヤーから質問があったとき？（再判定）、7. 間違っってインプレーを止めさせるサインまたはコールをしたら？（プレーの停止）